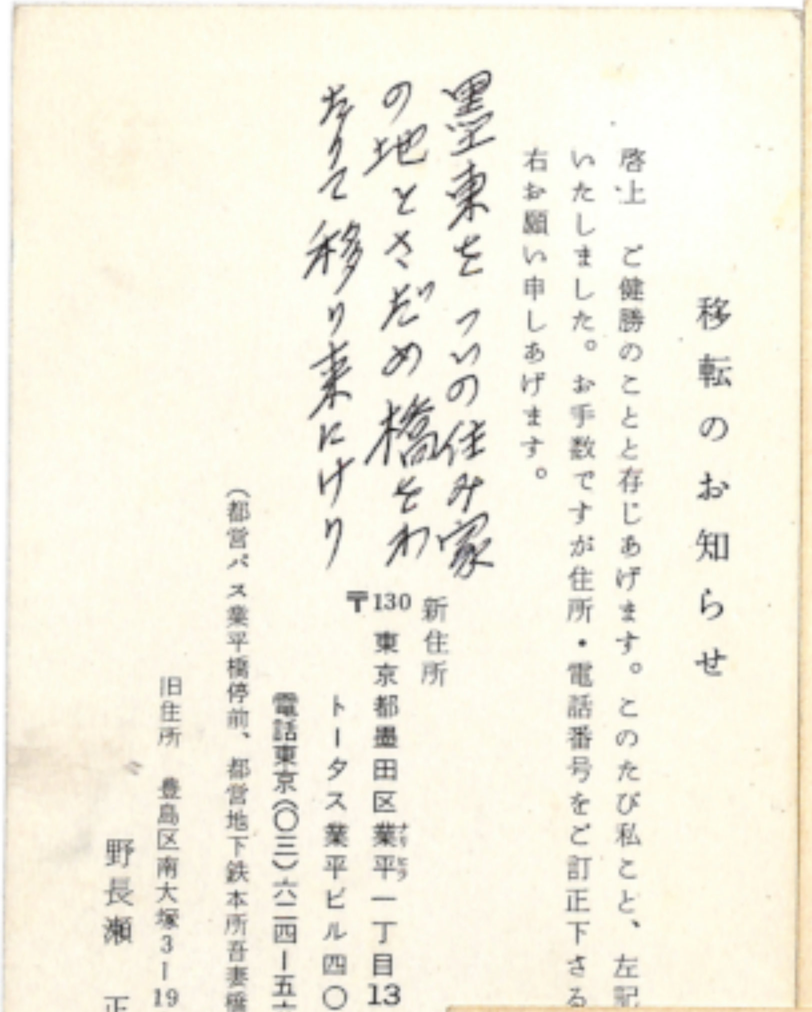
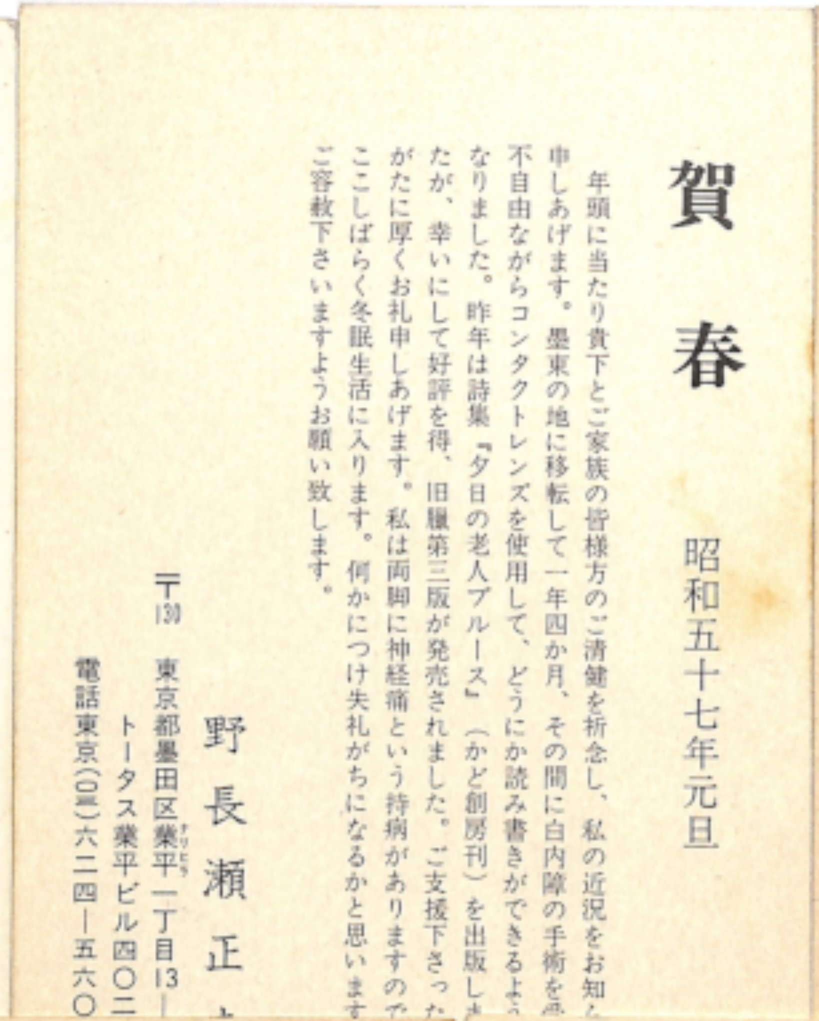


移転のお知らせ

啓上　ご健勝のことと存じあげます。このたび私こと、左記
いたしました。お手数ですが住所・電話番号をご訂正下さる
右お願い申しあげます。

墨東をついの住み家の地とさだめ橋をわたりて移り来にけり

〒130 新住所
東京都墨田区業平一丁目13－5
トータス業平ビル四〇二号
電話東京（〇三）六二四－五六〇五
（都営バス業平橋停前、都営地下鉄本所吾妻橋下車）
旧住所　豊島区南大塚3－19－5
野長瀬　正夫

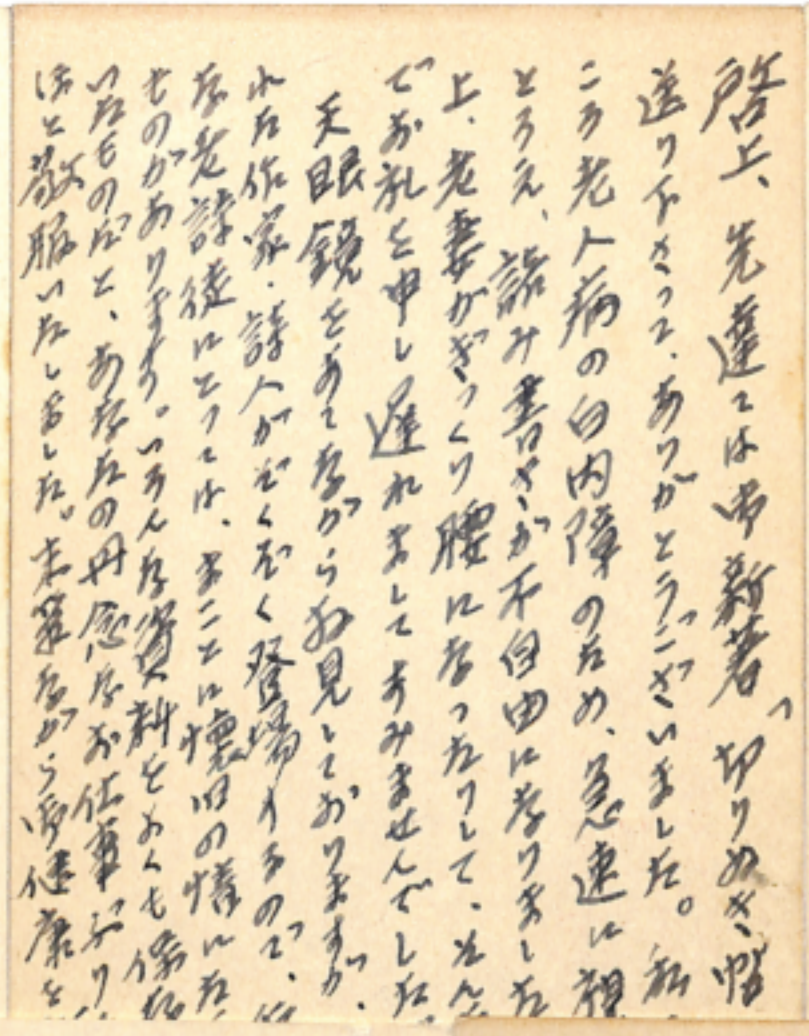


賀春

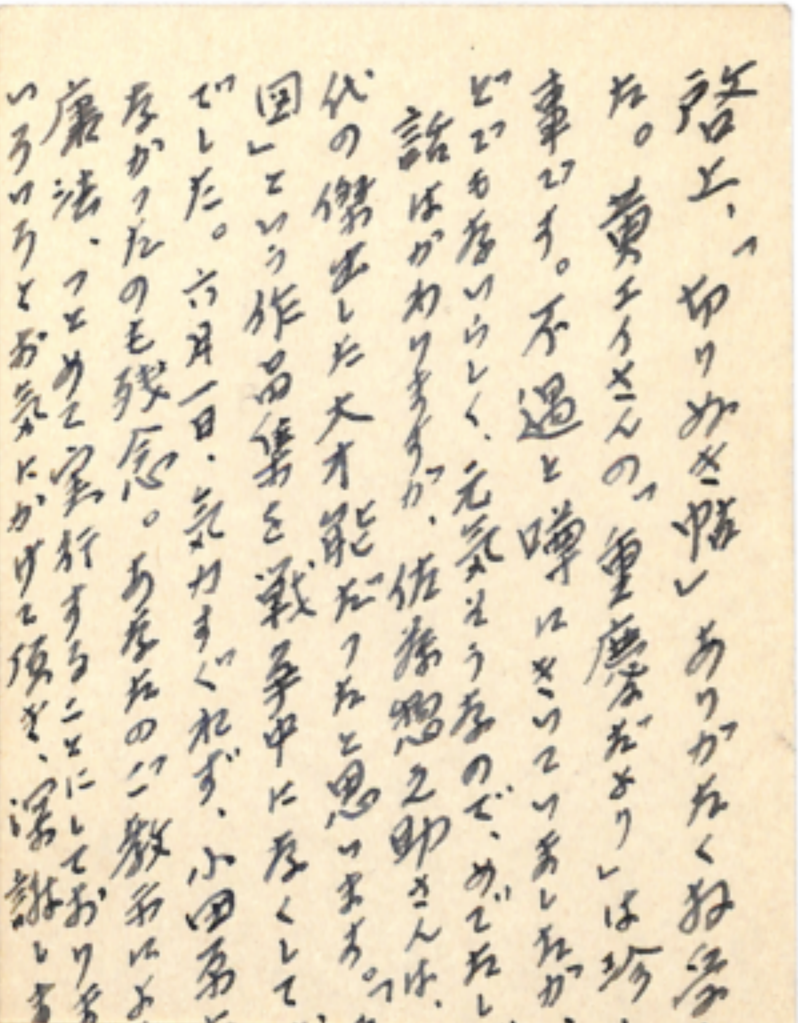
昭和五十七年元旦

年頭に当たり貴下とご家族の皆様方のご清健を祈念し、私の近況をお知ら
申しあげます。墨東の地に移転して一年四か月、その間に白内障の手術を受
不自由ながらコンタクトレンズを使用して、どうにか読み書きができるよう
なりました。昨年は詩集『夕日の老人ブルース』（かど創房刊）を出版しま
たが、幸いにして好評を得、旧臘第三版が発売されました。ご支援下さった
がたに厚くお礼申しあげます。私は両脚に神経痛という持病がありますので
ここしばらく冬眠生活に入ります。何かにつけ失礼がちになるかと思います
ご容赦下さいますようお願い致します。

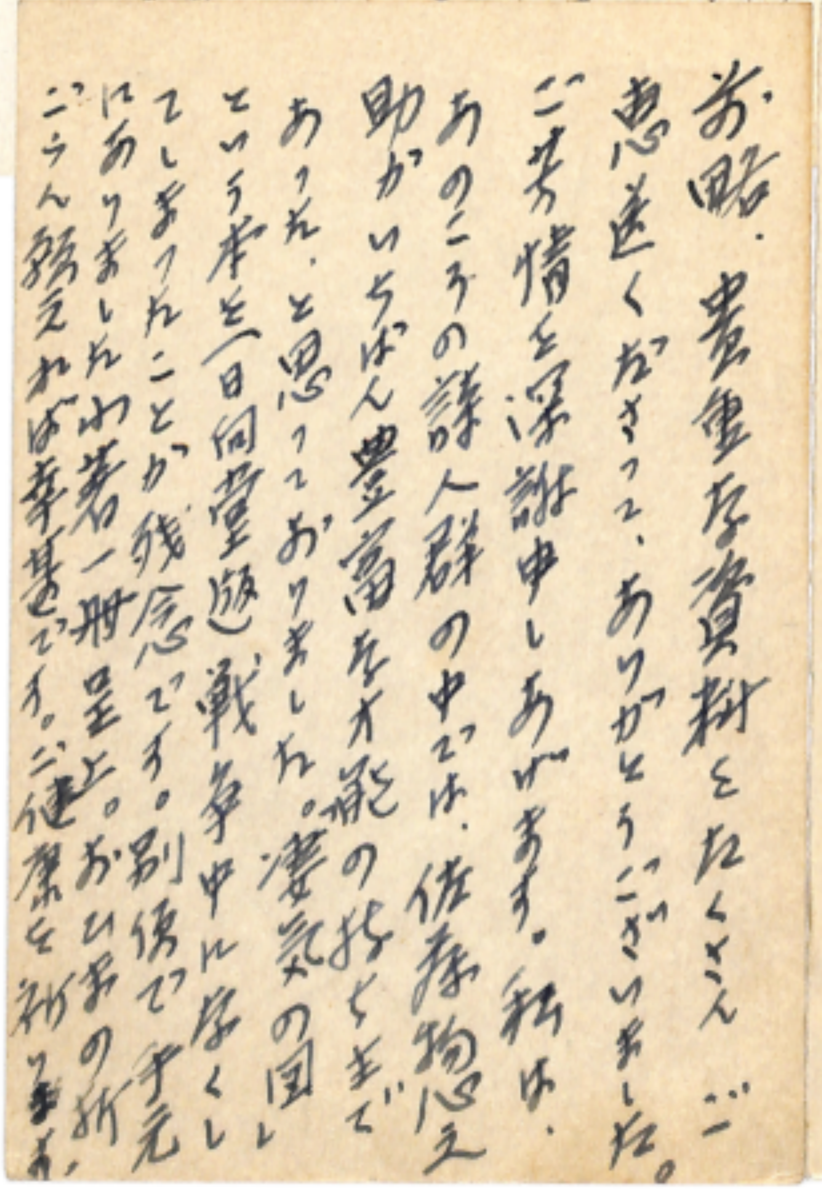
〒130 東京都墨田区業平一丁目13－
トータス業平ビル四〇二
電話東京（〇三）六二四－五六〇
野長瀬正



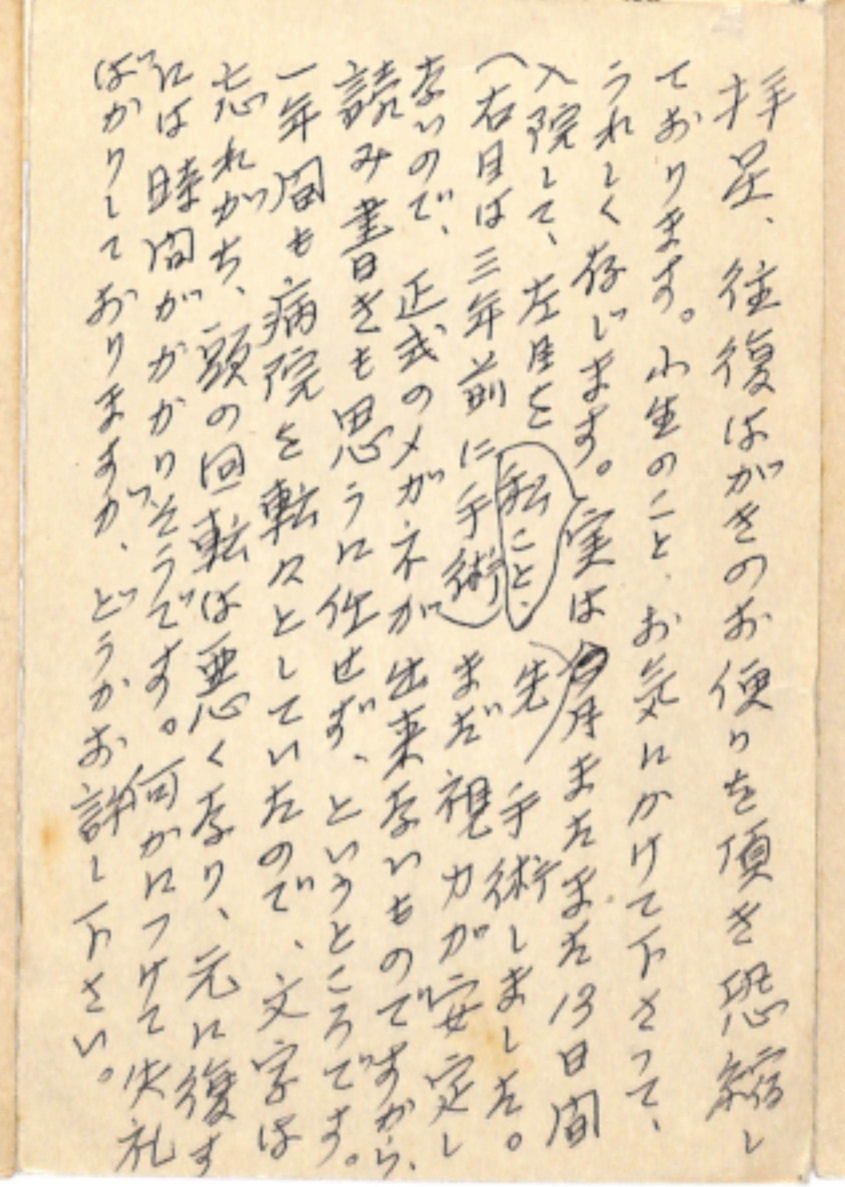
啓上、先達ては御新著「切りぬき帖」
送り下さって、ありがとうございました。私
ころ老人病の白内障のため、急速に視
とろえ、読み書きが不自由になりました
上、老妻がぎっくり腰になったりして、また
でお礼を申し遅れまして、すみませんでした。
天眼鏡をあてながら拝見しております
小さな作家・詩人がぞくぞく登場するので、
老詩徒にとっては、まことに懐旧の情にたえ
ものがあります。ずいぶん貴重な資料をよくも集め
られたものだと、あなたの丹念なお仕事ぶり
ほと敬服いたしました。末筆ながら御健康を



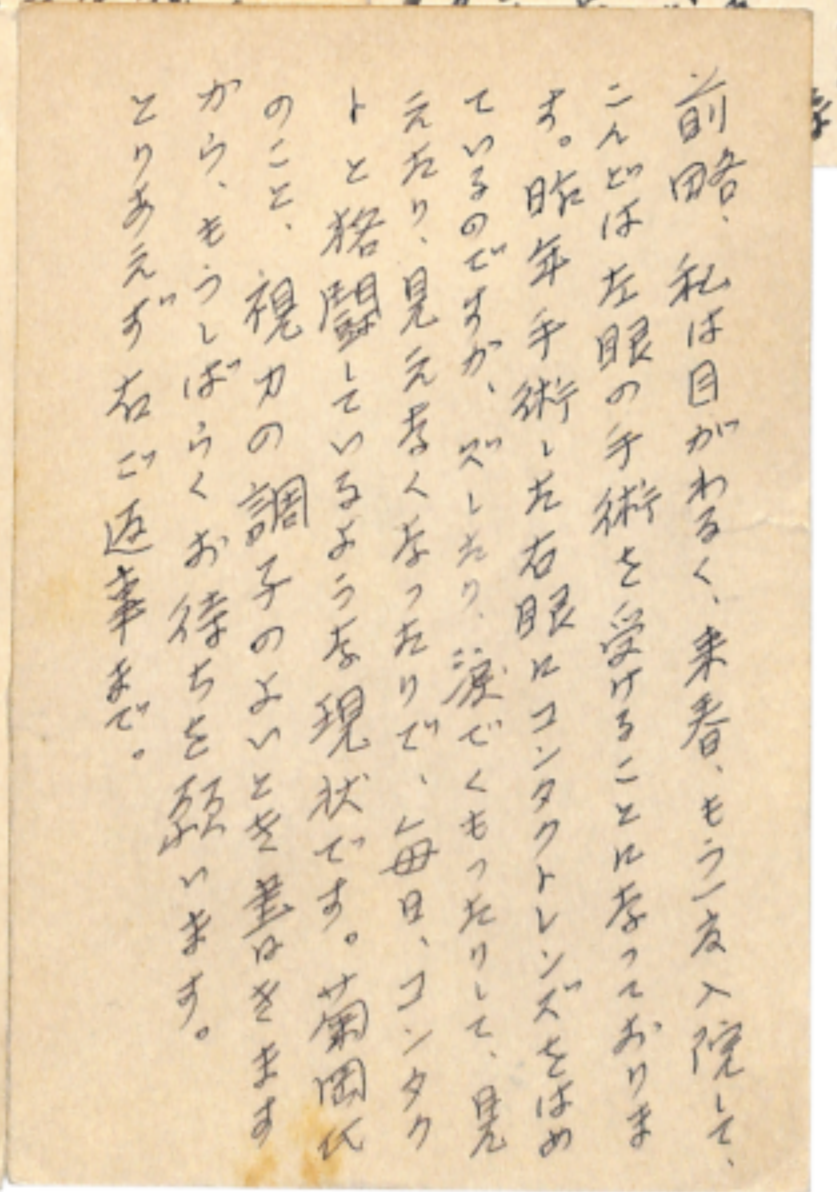
啓上、「切りぬき帖」ありがたく拝受しまし
た。黄チイさんの「重慶だより」は珍しい記
事です。不遇と噂はきいていましたが、それほ
どでもないらしく、元気そうなので、めでたしです。
話はかわりますが、佐藤惣之助さんは、
代の傑出した大才能だったと思います。
国」という作品集を戦争中に失くして
でした。六月一日、気分すぐれず、小田原
なかったのも残念。あなたのご教示によ
療法、つとめて実行することにしており
いろいろとお気にかけて頂き、深謝と



前略、豊富な資料をたくさんご
恵送くださって、ありがとうございました。
ご芳情を深謝申しあげます。私は、
あのころの詩人群の中では、佐藤惣之
助がいちばん豊富な才能の持ち主で
あった、と思っております。「凄気の国」
という本を（日向堂版）戦争中に失くし
てしまったことが残念です。別便で手元
にありました小著一冊呈上。おひまの折
ごらん願えれば幸甚です。ご健康を祈ります



拝呈、往復はがきのお便りを頂き恐縮し
ております。小生のこと、お気にかけて下さって、
うれしく存じます。実は私こと先月までまる13日間
入院して、左目を手術しました。
（右目は三年前に手術）まだ視力が安定し
ないので、正式のメガネが出来ないのですから、
読み書きも思うに任せず、というところです。
一年間も病院を転々としていたので、文字は
忘れがち、頭の回転は悪くなり、元に復す
るには時間がかかりそうです。何かにつけて失礼
ばかりしておりますが、どうかお許し下さい。



前略、私は目がわるく、来春、もう一度入院して、
こんどは左眼の手術を受けることになっておりま
す。昨年手術した右眼にコンタクトレンズをはめ
ているのですが、ずれたり、涙でくもったりして、見
えたり、見えなくなったりで、毎日、コンタク
トと格闘しているような現状です。菊岡氏
のこと、視力の調子のよいとき書きます
から、もうしばらくお待ちを願います。
とりあえずお返事まで。